

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表:令和 5年 2月25日

事業所名: サポートセンターら・フロレゾン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		児童の状況に応じて小集団対応と個別対応を分けて支援を行っている。	個別対応が必要な利用児童が複数いた際に対応できる個室数が少ない。区画や個室の整備を検討しています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		児童の状況に応じて小集団対応と個別対応を分けて支援を行っている。	既定の職員配置数は満たされているが、利用児の気分変動により個別対応が必要な場合等で対応できる職員が不足に感じられる場合があるため、配置人員増を検討しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差や手すり、スロープ等、安全で安心して利用できるよう配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的な職員会議により、職員の意見を聴き取りながら業務改善に取り組んでいる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的な面談の機会等で、保護者の意向を聞き取り検討し、業務改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、ホームページによる公開と館内に掲示して公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価の実施に向けて、業務改善に取り組んでいます。	現在、第三者による外部評価は行っていないため、今後のより良いサービス提供のためにも外部評価の機会を検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に職員研修の機会を設けて、資質の向上に努めている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント・モニタリングによる課題を分析し、計画に反映して支援を実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの適応行動及び状況に合わせたアセスメント様式を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スケジュール構成を行う際に内容立案は職員間で意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用日に応じて固定化されないように職員間で意見を出し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、学校休業日、長期休暇時等、それぞれの日程に応じた課題・カリキュラムを設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれに応じた個別支援・小集団支援の課題に応じた対応を行っている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の利用児及び活動の内容等、朝礼時に確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の支援状況及び、その際の対応状況等の共通理解を行う時間を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用日各児の支援状況の記録をとっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行うとともに家族面談を行い計画の見直し等を判断している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を実施しているか	○			ガイドライン項目に応じた計画を立案し、支援を実施している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議には児発管及び支援担当者が同席している。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校にも働きかけ、下校時刻の把握や支援状況等の連絡調整・情報供給を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	定期受診をされている方は保護者との連携により適切な対応が取れるよう努めています。	現在、医療的ケアが必要な児童の受入は行っていない。今後のニーズにより必要な体制及び施設整備も含めて検討します。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			各関係機関より支援の状況等を把握し、場合によっては連絡調整を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			学校卒業時には移行支援シートを作成し、情報提供を行っている。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			各所で行われる協議会や研修会に参加し、連携の機会を作っています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	年齢に応じて児童クラブとの併用や少年団の活動への参加などの周知等を行っています。	感染症禍もあり、児童クラブや児童館との交流は取れていませんが、公共の図書館や公園散策など、地域の子もたちとの関わりが持てる場所での活動に取り組んでいます。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		地域の児童発達支援センターとの連携に努めています。	感染症禍もあり参加の機会は少ないが、専門部会による研修会等に積極的に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			定期的な面談や送迎の機会を利用して児童の状況について共通理解を行っている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・トレーニングの機会を実施して、保護者と支援状況の共有を行っている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時及び内容変更時に、それぞれに説明・同意を得ている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談の依頼等、適宜対応して機会を設けている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		親子交流や地域交流行事を今後は実施する予定です。	感染症禍もあり、保護者会が行われていないが、ペアレント・トレーニングや親子交流の機会として夏祭りやもちつき大会を実施しています。今後は定期的に保護者会も実施予定です。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情・要望があった際は事業所内で検討を行い、迅速に対応できるようにしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に会報を発行して、活動状況等を発信している。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の管理の徹底及び使用についても説明の上で同意を得ている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			発語など意思伝達の本人状況によって、配慮をしている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		親子交流や地域交流行事を今後は実施する予定です。	感染症禍もあり、地域との関わりが多くはないが、親子交流行事を地域交流も含めた場として展開予定です。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルを作成し、職員周知並びに館内掲示を行っている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練の機会を設け実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止・人権侵害防止に向けた研修の機会を定期的の設けている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束についての研修の機会を設け、必要であれば保護者同意を得た上で実施する予定である。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			事前聞き取りと医師からの意見書・指示書に応じた対応を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			適宜ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で内容共有を行っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)